

旭川から

別海町の皆様お元気ですか。西越です。久しぶりに近況報告させていただきます。前回お便りさせていただいたのは2016年の3月、娘の千恵が生後7か月の頃でした。現在、千恵は2歳4か月になり、色々な言葉を話す様になりました。日々成長の速さに驚き、うれしく思います。昨年は北見に転勤し一年過ごしました。なかなか住み良い街でした。その間、別海にも一度伺い、色々お話を聞かせて頂きました。私が獣医だった頃と比べ、乳代、個体価格など酪農を取り巻く環境が随分変化していると聞き驚きました。本年4月から再び旭川に戻り、現在は旭川厚生病院で勤務しています。この病院の外科には11人の医者があり、なかなか大きな病院です。来季の居場所は現時点ではわかりません。医者は初めのうちは転勤族だと思われ知らされています。毎年引っ越しで、引っ越し貧乏とはこのことかと感じます。

早いもので、私が別海を離れ10年、医師になって5年目になります。現在は胃癌、大腸癌、乳癌の手術を主に勉強しながら執刀もさせて頂いています。最近はやりの腹腔鏡手術も、今や通常の手術術式となり、できて当然の流れとなっており、勉強中です。こちらは技術認定制度があり、腹腔鏡手術の技術認定医を目指しておりますが、まだまだ時間がかかりそうです。その前に取るべき資格がありまして、今年の8月には外科専門医試験の予備試験を受験してきました。これは学科試験ですが、結構落とされる試験です。出来が悪かったので落ちたと思っていましたが、何とか合格しました。本試験は面接試験ですが、5分以上遅刻しなければ落ちないと言われる試験です。大丈夫だと思います（事実かどうかは確認できませんが）。そう言う簡単なようで、実際は受験資格があり、学会発表が何例以上必要などの縛りがあるため、予備試験合格後に本試験を受験できない人もいます。私は来年受験できますので、次の便りを出すときは、外科専門医の西越ですと報告できると思います。その後も試験は続き、消化器外科専門医、癌治療専門医、技術認定医、、、ときりがありませんが挑み続けるしかないようです。ただ、外科専門医はなってみるまでは大した資格だと思っておりましたが（実際はまだなってませんが）、別になんということのない通過点でしかありません。道は遠く険しいようです。

最近運動する機会も減り、めっぽう体力も落ちてきました。今年、網走マラソンに出ましたが、38キロまで行くも、動けなくなってしまい棄権しました。これまで何度もマラソンを走ってきましたが、まさか完走できない時が来るとは思ってもみなかったためショックでした。思い返せばレースのための練習など3回くらいしか走れなかったもので、当たり前結果といえばそうかもしれませんが、過去の自分に勝てないというのはやはりショックでした。一念発起して、現在は病院までを走って通勤しています。先日、40キロ走って少し自信を取り戻しました。来年はトライアスロンも復活しレースに出るつもりです。頭だけを鍛えるのは難しく、体だけを鍛えるのも同じく難しいと思います。心技体、その充実を目指す一年でありたいと思っています。私の近況報告はこんな感じですが、皆様にとっても、来年が充実の年となりますことを祈っています。

